

基本目標4 健康で安心して暮らせる生活環境の整備

主要課題1 ●子どもが健やかに育つ環境整備

施策の方向1 ●子どもが健やかに育つ生活環境の整備

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果																								
105次世代育成支援地域行動計画の推進 《概要》 安心して子育てできる環境づくりを考える計画を策定し、推進する。	継続	次世代育成支援地域行動計画作成部会を開催し、事業計画に掲載された事業や取組みについて、実施状況の確認や結果の分析評価を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進できたかを確認した。	児童福祉課	1	f, h																								
106地域子育て支援センターの充実 《概要》 子育て家庭に対して、育児相談や子育てサークル等の育児支援を行う。	拡充	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">○広場の自由開放</th> </tr> <tr> <th>広場名</th> <th>開催日数</th> <th>参加人数(親・子ども)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夢っ子ひろば のぎさき</td> <td>56日</td> <td>1,897人 (887人1,010人)</td> </tr> <tr> <td>夢っ子ひろば ほくえん</td> <td>120日</td> <td>7,958人 (3,690人4,268人)</td> </tr> <tr> <td>夢っ子ひろば みずきの</td> <td>70日</td> <td>2,818人 (1,348人1,470人)</td> </tr> <tr> <td>夢っ子ひろば おおがしわ</td> <td>46日</td> <td>2,074人 (1,420人1,654人)</td> </tr> <tr> <td>夢っ子ひろば まなびの里</td> <td>165日</td> <td>9,245人 (4,209人5,036人)</td> </tr> <tr> <td>出前広場 公民館4か所</td> <td>50日</td> <td>2,379人 (1,073人1,306人)</td> </tr> </tbody> </table>	○広場の自由開放			広場名	開催日数	参加人数(親・子ども)	夢っ子ひろば のぎさき	56日	1,897人 (887人1,010人)	夢っ子ひろば ほくえん	120日	7,958人 (3,690人4,268人)	夢っ子ひろば みずきの	70日	2,818人 (1,348人1,470人)	夢っ子ひろば おおがしわ	46日	2,074人 (1,420人1,654人)	夢っ子ひろば まなびの里	165日	9,245人 (4,209人5,036人)	出前広場 公民館4か所	50日	2,379人 (1,073人1,306人)	児童福祉課	1	a, b, c, e, g, h
○広場の自由開放																													
広場名	開催日数	参加人数(親・子ども)																											
夢っ子ひろば のぎさき	56日	1,897人 (887人1,010人)																											
夢っ子ひろば ほくえん	120日	7,958人 (3,690人4,268人)																											
夢っ子ひろば みずきの	70日	2,818人 (1,348人1,470人)																											
夢っ子ひろば おおがしわ	46日	2,074人 (1,420人1,654人)																											
夢っ子ひろば まなびの里	165日	9,245人 (4,209人5,036人)																											
出前広場 公民館4か所	50日	2,379人 (1,073人1,306人)																											

園庭自由開放	41日	324人 (143人 181人)
--------	-----	---------------------

○子育て講座

広場名	開催日数	参加人数(親・子ども)
リトミック	18日	685人 (271人 414人)
赤ちゃん体操 年3回	10日	192人(両親含) (106人 86人)
クッキング	5日	128人 (61人 67人)
交流分析講座	5日	128人 (64人 64人)
救命救急	2日	114人 (54人 60人)

○行事

夢っ子まつり 358人(親187人 子171人)
 福祉まつり 161人(親59人 子102人)
 夢っ子コンサート 286人(親139人 子147人)
 オープニングセレモニー 284人
 (親132人 子152人)

○子育てサークル支援

サークル出前 41回 1,117人
 (親512人 子605人)

活動場所の貸し出し 109回

		<p>○育児相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場での相談 335件 ・にこにこ広場 3件 ・でんわ相談 2件 ・メール 0件 ・ぽかぽか子育て教室の実施 毎月1回, 全1回 (親61人・子61人) <p>*平日開催の広場, 土曜日に実施した赤ちゃん体操に参加する父親が増えた。休日の行事には, 家族揃っての参加も見られ, 父親の子育てへの関心や協力意識が高くなっている。</p>															
<p>107ファミリー・サポートセンターの充実 《概要》 市民の相互援助組織であるファミリー・サポートセンターの機能を充実する。</p>	<p>継続</p>	<p>学童クラブや保育所の送迎・保護者の冠婚葬祭の出席に伴う託児・保護者の就労による一時的な預かり・」保護者の疾病や兄弟の疾病による一時的な預かりなどの利用が高まっている。</p> <p>○利用件数</p> <table border="1" data-bbox="728 874 1494 1026"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H18</th> <th>H17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>603人</td> <td>534人</td> <td>461人</td> </tr> <tr> <td>依頼件数</td> <td>1,990件</td> <td>1,801件</td> <td>3,135件</td> </tr> </tbody> </table> <p>前年度と比較すると会員数は69人増加した。また, 平成17年度からは, 夏休み児童クラブ利用時間延長を実施したことなどにより年々依頼件数が減少したが, 前年から10%増加している。</p>		H19	H18	H17	会員数	603人	534人	461人	依頼件数	1,990件	1,801件	3,135件	<p>児童福祉課</p>	<p>1</p>	<p>h</p>
	H19	H18	H17														
会員数	603人	534人	461人														
依頼件数	1,990件	1,801件	3,135件														
<p>93(再)放課後児童クラブの充実</p>	<p>拡充</p>		<p>生涯学習課</p>	<p>1</p>	<p>f, h</p>												

<p>108子育てホームページでの情報提供 《概要》 市の子育て関連機関のホームページを立ち上げ、総合的な情報を提供する。</p>	<p>継続</p>	<p>守谷市ホームページ,子育てひろばウェブ版の子育て支援センター事業,子ども行事カレンダー等で子育て支援情報を提供している。(支援センター事業,子育てサークル情報,お知らせ等の情報)</p>	<p>児童福祉課</p>	<p>2</p>	<p>a, b, c, h</p>																																										
<p>109子育て広場の推進 《概要》 子育て中の親子に対して、気軽に相談、交流ができる場を提供する。</p>	<p>拡充</p>	<p>「106 地域子育て支援センターの充実」と統合</p>	<p>児童福祉課</p>	<p>—</p>																																											
<p>110児童館活動の充実 《概要》 児童館まつり、あそぼうかい、ゲーム大会、子ども相談などの事業を充実する。 *児童館閉館のためH19年度事業終了</p>	<p>継続</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">○児童館健全育成事業利用状況</th> </tr> <tr> <th>事業名</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工作</td> <td>135</td> <td>1,083</td> </tr> <tr> <td>映画会</td> <td>18</td> <td>218</td> </tr> <tr> <td>児童館まつり</td> <td>1</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>チャレンジコーナー</td> <td>24</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>あそぼうかい</td> <td>1</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>ゲーム大会</td> <td>11</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>毛糸織り</td> <td>好きな時</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しもう</td> <td>73</td> <td>1,116</td> </tr> <tr> <td>移動児童館</td> <td>1</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>ドミノクラブ</td> <td>15</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>お別れ会</td> <td>1</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>280回</td> <td>3,390人</td> </tr> </tbody> </table>	○児童館健全育成事業利用状況			事業名	開催回数	参加人数	工作	135	1,083	映画会	18	218	児童館まつり	1	234	チャレンジコーナー	24	155	あそぼうかい	1	48	ゲーム大会	11	172	毛糸織り	好きな時	42	親子で楽しもう	73	1,116	移動児童館	1	167	ドミノクラブ	15	103	お別れ会	1	52	合計	280回	3,390人	<p>児童福祉課</p>	<p>2</p>	<p>a, b, c, e, g</p>
○児童館健全育成事業利用状況																																															
事業名	開催回数	参加人数																																													
工作	135	1,083																																													
映画会	18	218																																													
児童館まつり	1	234																																													
チャレンジコーナー	24	155																																													
あそぼうかい	1	48																																													
ゲーム大会	11	172																																													
毛糸織り	好きな時	42																																													
親子で楽しもう	73	1,116																																													
移動児童館	1	167																																													
ドミノクラブ	15	103																																													
お別れ会	1	52																																													
合計	280回	3,390人																																													

<p>1 1 1ブックスタート 《概要》 乳幼児期からの読書の楽しさや、絵本を介した親子のふれあいの大切さの再確認を図るため、4か月児健康診査時に絵本2冊を含む「ブックスタートパック」を配布する。</p>	<p>継続</p>	<p>月2回配布。</p> <table border="1" data-bbox="728 209 1451 459"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>人数</th> <th>月</th> <th>人数</th> <th>月</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>54</td> <td>8月</td> <td>45</td> <td>12月</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>56</td> <td>9月</td> <td>46</td> <td>1月</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>41</td> <td>10月</td> <td>55</td> <td>2月</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>40</td> <td>11月</td> <td>46</td> <td>3月</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>図書館への来館・訪問での配布 21名 合計 607名</p>	月	人数	月	人数	月	人数	4月	54	8月	45	12月	37	5月	56	9月	46	1月	31	6月	41	10月	55	2月	51	7月	40	11月	46	3月	55	<p>中央図書館</p>	<p>1</p>	<p>c, g, h</p>
月	人数	月	人数	月	人数																														
4月	54	8月	45	12月	37																														
5月	56	9月	46	1月	31																														
6月	41	10月	55	2月	51																														
7月	40	11月	46	3月	55																														
<p>1 1 2青少年ワークキャンプ 《概要》 2泊3日研修キャンプ（福祉体験学習）や独居高齢者宅へのホームステイ、障害者との交流を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>子どもが健やかに育つ環境整備として、1泊3日の青少年ワークキャンプ（福祉体験学習）を計画した。学校生活では体験できないお年寄りや障害者とのふれあいの中で、自らの目で見、自らの足で歩くことの喜びを見出す体験を通して、青少年の視野を広げ、福祉の心を培うことを目的に計画したが、最少開催人数に達しなかったため、中止とした。</p>	<p>社会福祉協議会</p>	<p>3</p>	<p>b, c, e, g</p>																														
<p>1 1 3児童手当支給事業 《概要》 小学校3学年終了前の子どもを養育している人を対象に、1人目と2人目がそれぞれ月額5千円、3人目以降は1人につき1万円を支給する。</p>	<p>継続</p>	<p>小学校6学年終了前の子どもを養育している人を対象に、1人目と2人目がそれぞれ月額5千円、3人目以降は1人につき1万円を支給した。支給対象児童数は年々増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月, 10月, 2月, 児童手当支給 ・ 児童手当支給世帯 3, 483世帯（月平均） （前年度 3, 282世帯） ・ 支給対象児童 5, 406人（月平均） （前年度 5, 330人） * 第1子 2, 898人, 第2子 1, 955人, 第3子以降 553人 	<p>児童福祉課</p>	<p>1</p>	<p>a, h</p>																														

<p>1 1 4 医療福祉費支給制度 《概要》 乳幼児、妊産婦、重度障害等、18歳未満の児童を養育するひとり親家庭に対し、医療保険により受信した場合の医療費を助成する。</p>	<p>継続</p>	<p>乳幼児、妊産婦、重度障害者等、及び18歳未満の児童を養育するひとり親家庭に対し、医療保険により受診した際の医療費の助成を行なった。 医療費の助成により経済的負担を軽減し、健康保持・早めの治療につながることによって、男女の別なく社会復帰や、継続して仕事に従事できる環境を作ることが可能となる。 以前は所得制限があったため、医療費助成を受けられる人に限りがあったが、平成19年10月診療分から、未就学児、妊産婦を対象とする、すこやか医療費助成事業を実施した。</p>	<p>国保年金課</p>	<p>1</p>	<p>f, h</p>
<p>1 1 5 食に関する指導 《概要》 小・中学校における「食に関する指導」を推進する。</p>	<p>継続</p>	<p>共同作業による稲作体験、飯盒炊飯体験の実施。保護者を交えた食の講演会、親子料理教室等を実施した。</p>	<p>学校教育課 指導室</p>	<p>2</p>	<p>c, f, g</p>
<p>1 1 6 食育講座 《概要》 子育て支援センターにおいて食に関するマナーや食の選択能力を育む講座を開設する。</p>	<p>継続</p>	<p>▽1回目・・・9月18日 野菜とくだもののおやつ作りを親子で実施（3～5歳児）後、食のバランスの講演を実施。 16組32名参加 ▽2回目・・・1月22日 節分の郷土料理を親子（3～5歳児）で実施。郷土料理の由来や、主菜副菜などバランスの重要性、食生活での悩みや疑問を会話。15組31名</p>	<p>児童福祉課</p>	<p>2</p>	<p>h</p>

<p>117 食生活改善推進員による親子料理教室</p> <p>《概要》</p> <p>小学生の親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導，調理実習を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>守谷市食生活改善推進員により，小学生の親子を対象にして，適切な食生活習慣を確立させるための講義や調理実習を行った。</p> <p>男性の仕事中心ライフスタイルを見直し，男女の地域活動（親子料理教室）への参加を促進して子どもと一緒に料理を作る機会を設ける。教室の開催時期や場所等を考慮し，広く市民に呼びかけるため広報にて参加を募る。</p> <table border="1" data-bbox="752 587 1451 932"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>開催場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月19日</td> <td>保健センター</td> <td>母 親 5名・ 子ども 8名</td> </tr> <tr> <td>8月25日</td> <td>保健センター</td> <td>父 親 1名・ 母 親 5名 子ども 6名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>保護者11名・子ども14名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	期 日	開催場所	参加人数	8月19日	保健センター	母 親 5名・ 子ども 8名	8月25日	保健センター	父 親 1名・ 母 親 5名 子ども 6名	合 計	保護者11名・子ども14名		<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>c</p>
期 日	開催場所	参加人数															
8月19日	保健センター	母 親 5名・ 子ども 8名															
8月25日	保健センター	父 親 1名・ 母 親 5名 子ども 6名															
合 計	保護者11名・子ども14名																
<p>118 青少年健全育成対策の充実</p> <p>《概要》</p> <p>青少年の健全育成に関する街頭啓発活動，自動販売機，コンビニエンスストア等に対する訪問指導を実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>○青少年の健全育成に協力する店の協力依頼（7/17～19 参加者 16名）</p> <p>コンビニ，本屋，ビデオショップなどを回り，青少年の健全育成のため，成人誌などの悪書等を排除若しくは区分陳列するよう店に求める。（子どもたちの目に触れさせない）</p> <p>○青少年非行防止キャラバンキャンペーン実施（11/19 参加者 9名）</p> <p>駅や大型店で非行防止を訴える啓発活動を行う</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>3</p>	<p>a, i</p>												

89 (再) 保育所 (園) の整備	拡充		児童福祉課	1	f, h
119 公共施設の施設整備 《概要》 施設の更新に合わせて授乳室や ベビーベッドなどの設置を 図る。	継続	育児などをされている方が、市役所で会議等に参加が しやすいように施設整備を進めていく事業であるが、 整備には、時間と費用がかかり、施設改造を含む事業 展開は難しいと考えている。 現在、現有施設の有効利用を図ることを兼ねて、会議 等参加者が授乳等を行う場合には、空いている会議室 等を使用していただくことにしている。会議室等が同 時に全部使用されていることはほとんどないため、今 後もこのような方法でスペースを確保していき、より 市民の皆様が会議等に参加しやすい場を提供してい きたい。	財政課	1	a, c, e, g
120 安心して使える公園の確 保 《概要》 公園遊具の安全点検を進めると ともに、市民との協働による樹 木等の管理を推進し、安全で使 いやすい公園を確保する。	継続	遊具の安全点検を行い、必要に応じて随時修繕を行っ た。管理委託での樹木、草等の管理と併せて、市民の 緑の重要性に対する認識が高まりつつあり、公園里親 やボランティア作業、維持管理団体などに協力する団 体が増えている。市民と行政が一体で協働による管理 を行うことにより、公園や緑地に対する愛護意識が高 まっている。	都市計画課	1	i

施策の方向2 ● 児童虐待防止の推進

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
<p>1 2 1 児童虐待防止に向けた意識啓発の推進</p> <p>《概要》</p> <p>広報紙等を通して児童虐待防止に向けた啓発を行う。</p>	継続	<p>守谷市子ども家庭支援ネットワーク協議会の発足から、各関連機関・民生委員・児童委員・児童クラブ指導員等に児童虐待防止について、早期発見の協力と相談窓口の周知徹底を行った。又、広報誌に毎月相談・通報窓口を掲載し、市民の方にも相談・通報窓口の周知を行う。</p>	<p>児童福祉課 保健センター</p>	1	a, b, g
<p>1 2 2 児童虐待防止ネットワーク会議の充実</p> <p>《概要》</p> <p>関係機関との連携を図り児童虐待防止ネットワーク会議を発足させ、児童虐待防止に努める。</p>	新規	<p>守谷市子ども家庭支援ネットワーク協議会代表者会議を1回、実務者会議を1回開催し、連携強化と具体的な話を進め、虐待予防と早期対応に努めた。また、個別ケース検討会議は24回開催し、ケースごとに関連機関を召集し問題解決に向けて検討をした。</p> <p>○代表者会議（9月21日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ネットワークの活動状況 守谷市内の虐待状況について」 ・講話 「土浦児童相談所管内の児童虐待の現状」 土浦児童相談所長 野上 清治氏 <p>○実務者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月15日 幼稚園・保育園対象 虐待ケースについて ・5月16日 小中学校対象 虐待ケースについて ・1月21日 事例検討 スーパーバイザー 佐藤 みよ子先生 	<p>児童福祉課 保健センター</p>	1	a, b, f, g

		児童虐待防止ネットワーク会議に当該児童在籍学校職員と指導室職員が参加し、その改善に努めた。	指導室	3	b, h
1 2 3 児童虐待の早期発見と予防体制の整備 《概要》 健康相談、健診や訪問指導等の機会に児童虐待の早期発見及び防止に努める。	継続	乳幼児健康検査時にアンケートを実施し、育児不安やパートナーの協力、家庭で困っていることなどを聞いて面接している。 ▽3～4か月児健診（参加者589／対象者611） ▽1歳6か月児健診（参加者549／対象者566） ▽3歳児健診（参加者441／対象者467） 健診未受診者や母子手帳交付の情報で、困っていること（パートナーの問題を含む）での訪問や面接の相談を実施した。	保健センター	2	c, h
1 2 4 民生委員・児童委員活動の推進 《概要》 担当地域内の児童の生活・環境状態を把握することで、地域内の児童虐待の早期発見に努める。	継続	担当地域内の児童の生活環境状態を把握することで地域内の児童虐待の早期発見に努める。 総会や定期会議において、児童虐待などの把握や早期発見に努めるように努力している。また、講習や集会等に参加し対策に努めている。 ○毎月定期活動 委員80名	社会福祉課	1	i
1 2 5 児童虐待等に関する相談体制の充実 《概要》 家庭児童相談員やケースワーカーによる相談や指導を行う。	継続	虐待の相談窓口を1つにし、相談や通報を受ける。 虐待の相談・通告件数は33件となり、昨年より若干の減少となる。	児童福祉課	1	a, b, f, h

施策の方向3 ●子どもに関する相談支援体制の整備

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
97 (再) 家庭児童相談	継続		児童福祉課	2	a, b, c, e, g
96 (再) 子育て相談の充実	継続		児童福祉課	1	h
			保健センター	2	a, b, c
			指導室	2	b, f, g
126 乳幼児・児童の相談の実施 《概要》 乳幼児・児童のあらゆる問題に対し、家庭相談員・保育士・保健師・教員の立場で相談及び指導を行う。	継続	就学に関する相談、学校生活及び児童の家庭生活に関する相談等を年間を通して実施してきた。	指導室	2	b, f, g
		保健センターによる1歳6ヶ月健診・3歳児健診に家庭相談員が出向き相談を受ける。 相談件数の増加で健診に出向く時間をとるのがむずかしくなる場合には、保健センターでかなり深刻な相談等があった時に、家庭相談室につなげてもらうような体制をとっている。	児童福祉課	3	a, b
		乳幼児のあらゆる問題に対し、精神科医師・臨床心理士・精神保健福祉士・心理相談員・保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師等が様々な相談を行う。 ゆとりを持ち、安心して家族全員で子育てができるために育児相談を行っている。また、子育てしているという気持ちや育児休業中の心の悩みも相談として受け付けた。 育児不安の解消や虐待予防の視点でも育児相談を設定しているが、今後はもっと広めてパートナーシップも含めた問題点を認識していく必要がある。	保健センター	3	c

		<p>◎育児健康相談会9回 相談会来所者数 実人数106人／述人数353人 1歳未満 …… 165人（延人数） 1～3歳 …… 186人（延人数） 4～6歳 …… 2名（延人数） ◎心の相談・発達相談24回 75／94件（実／延）</p>			
<p>127教育相談の実施 《概要》 小学校においては担任と心の教育相談員による相談，中学校では担任による相談に加えてスクールカウンセラー，心の教育相談員を配置している。また，不登校児童への適応指導教室での指導，指導員による相談や家庭訪問を実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>心の教育相談員（3名 1,440時間），スクールカウンセラー（2名 552時間）の学校への配置や教育相談員（2名 年間192日）による面談，電話相談。また，適応指導教室「はばたき」での相談活動（4名 年間200日）等を年間を通して実施してきた。</p>	<p>指導室</p>	<p>1</p>	<p>b, f, g</p>

主要課題2 ● 一生涯の健康づくり

施策の方向1 ● 生涯を通じた女性の健康に関する意識の浸透

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
<p>128 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）の広報啓発</p> <p>《概要》 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの認識の浸透を図るため、啓発や情報提供を行う。</p>	新規	<p>◎小中学生対象の性に関する講座</p> <p>7/19 御所ヶ丘中 3年生178名 「性の大切さ」について</p> <p>11/5 松ヶ丘小 3年生102名 「命のたんじょうー赤ちゃんのひみつ」</p> <p>11/20 松ヶ丘小 4年生103名 「思春期・心身の変化・出産等について」</p> <p>◎女性のための健康教室（40～50歳代の女性）</p> <p>3/7, 3/14, 3/18の3日間コース 「更年期に関すること、骨粗鬆症に関すること」 参加者53名</p>	保健センター くらしの支援課	2	a, b,
<p>129 小・中学校における健康教育の推進</p> <p>《概要》 小・中学校において健康に関する問題についての正しい知識の普及啓発を図る。</p>	継続	<p>保健学習「健やかな成長」「栄養と健康」「運動と健康」等の単元を中心に、男女の成長の特徴を理解させ、好ましい異性観や正しい性意識の形成を図る授業や、栄養面・運動面からの健康に対する知識の形成を図る授業を実施してきた。</p>	指導室	2	a, b, c, g

***** リプロダクティブ・ヘルツ/ライツ（性と生殖に関する健康と権利） *****

◎リプロダクティブ・ヘルツ 個人、特に女性の身体的、精神的及び社会的に健康であるための自己決定権を保障する考え方。

◎リプロダクティブ・ライツ それをすべての人々の基本的人権として位置付ける理念。

リプロダクティブ・ヘルツ/ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全な性生活・妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つこと、思春期や更年期における健康上の問題等があり、幅が広い。

施策の方向2 ●母子保健サービスの充実

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
<p>130 母子の健康に関する広報活動の実施</p> <p>《概要》 女性が安心して妊娠・出産の時期を過ごし、母子の健康が確保されるよう、広報活動をする。</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター予定表で、母子保健事業の周知（全戸配布） ・子育て支援センター作成の子育てトライアングルブック中にも、母子保健の事業と相談窓口を掲載している。（子育てホームページも同様） 	保健センター くらしの支援課	3	c
<p>131 母子保健サービスの充実</p> <p>《概要》 乳幼児健康診査，新生児訪問，乳幼児訪問指導，育児相談，予防接種などを実施する。</p>	継続	<p>◎育児相談会 年9回 実人数106人／延人数353人 離乳食・食事のことや子どもの健康に関する相談が多い。予約がいらないため、気軽に利用できるようで、参加者は増えている。転入後、子育て支援サービスがわからない方への各種サービスの紹介も行っている。</p> <p>◎離乳食教室（後期） 年12回 延人数234人 離乳食教室（初期）に加え、平成18年度より実施。離乳食の試食や栄養士・保健師の相談を行っている。毎回参加者が多く、平成20年度より、回数を6回から12回に増やした。</p> <p>◎2歳児歯みがき教室 年8回 延人数54人 平成19年度より実施。歯科衛生士の集団指導を中心に、歯の健康についての講和や相談を行った。</p>	保健センター	3	c

<p>132 母子健康手帳の交付 《概要》 妊娠・出産・育児まで、一貫した健康状態を記録できる手帳の交付</p>	<p>継続</p>	<p>平成19年度の母子健康手帳交付数 607部 母子健康手帳は、妊娠・出産・育児まで一貫して、健康状態を記録するための手帳である。その中には、働く女性、異性のための出産、育児に関する制度についての記録がある。また、窓口での交付の際、家族の健康状態や心配事など、育児支援の必要性などを確認し、アドバイスを行っている。</p>	<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>c</p>																			
<p>133 医療サービス体制の充実 《概要》 妊娠・出産・育児まで、一貫した健康状態を記録できる手帳の交付を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>妊婦・乳幼児一般健康検査受診券の交付、休日夜間の小児救急医療体制の整備</p>	<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>c</p>																			
<p>134 小児救急医療体制における近隣市との連携 《概要》 5市町村で2つの病院を輪番制で運営する小児救急医療輪番制により、休日・夜間の小児救急医療の充実を図る。</p>	<p>継続</p>	<p>構成市町村（取手市・守谷市・利根町・つくばみらい市・常総市）による小児救急輪番制において、2つの輪番制病院で、下記患者の受け入れを行った。</p> <table border="1" data-bbox="730 879 1491 1382"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>患者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取手協同病院</td> <td>8,872人</td> <td>夜間 6,916人</td> </tr> <tr> <td>うち守谷市民 1,001人</td> <td>休日 1,956人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">守谷第一病院</td> <td>539人</td> <td>夜間 480人</td> </tr> <tr> <td>うち守谷市民 237人</td> <td>休日 59人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 9,411人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち守谷市民 1,238人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	患者数	備考	取手協同病院	8,872人	夜間 6,916人	うち守谷市民 1,001人	休日 1,956人	守谷第一病院	539人	夜間 480人	うち守谷市民 237人	休日 59人		計 9,411人			うち守谷市民 1,238人		<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>c</p>
病院名	患者数	備考																						
取手協同病院	8,872人	夜間 6,916人																						
	うち守谷市民 1,001人	休日 1,956人																						
守谷第一病院	539人	夜間 480人																						
	うち守谷市民 237人	休日 59人																						
	計 9,411人																							
	うち守谷市民 1,238人																							

<p>135 ライフステージに応じた健康相談の実施</p> <p>《概要》 女性のライフステージに応じた課題に対応する健康相談を実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>健康結果相談会や窓口相談において、各年代の健康課題に添った相談を受けた。</p> <p>40～50歳代の女性を対象に、自分の身体や心を見つめ直し健康づくりへの意識を高めるための健康教室「更年期の教室」を開催した。参加者アンケートにより心身の健康管理への意識啓発に繋がった回答が多かった。</p> <p>◎「更年期の教室」実績 10:00～11:30</p> <p>3/7 17名 更年期の女性の心と体の変化</p> <p>3/14 14名 女性と生活習慣病, 尿失禁予防</p> <p>3/18 22名 骨粗鬆症について</p>	<p>保健センター</p>	<p>2</p>	<p>b, f, h</p>
---	-----------	---	---------------	----------	----------------

施策の方向3 ●心身の健康保持・増進への支援

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
<p>136 健康づくりに関する相談の充実</p> <p>《概要》 一人ひとりの健康状態に応じた相談を実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>一人ひとりの健康状態に応じた相談を実施。ミニドック健診、基本検診後の個別相談会を開催。相談者の健診結果や年齢等から見た健康課題に合わせた内容が中心である。窓口相談は随時対応した。</p> <p><ミニドック健診結果相談会> 8/6～8/8 男1名 女5名 計6名</p> <p><基本健診結果相談会> 9/21～10/29 男38名 女98名 計136名</p> <p><窓口相談>随時 男30名 女60名 計90名</p>	<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>i</p>

<p>137健康もりや・健やか親子 21計画の推進 《概要》 個人の力、家族の力、地域の力、行政の力を合わせて、一人ひとりが生きがいに満ち、家族、地域でふれあいながらいきいきとくらすための施策を推進する。</p>	<p>拡充</p>	<p>個人の力、家族の力、地域の力、行政の力を合わせて、一人ひとりが生きがいに満ち、家族、地域でふれあいながらいきいき暮らすために事業を行う。</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の事業 健康もりや市民ワーキングが企画運営をしている、60歳代を中心とした、スポーツと話し合いの場「レッツスポーツしゃべり場」を月2回実施 ・乳幼児期の事業 母子保健推進員が企画し、地域で子育て中の親子の交流活動を実施した。 <p>① 12月 3日 36組 77名 ② 10月31日 6組8名 12月7日 7組10名 ③ 5月28日 11組 10月25日 14組 10月31日 24組</p>	<p>保健センター</p>	<p>1</p>	<p>b, c, e, g</p>
<p>138薬物乱用防止に関する啓発活動 《概要》 県・保健所等からの情報を収集し、提供する。保健所が配置する薬物乱用防止指導員による、啓発活動の実施。</p>	<p>継続</p>	<p>竜ヶ崎保健所主催「ダメ。ゼッタイ。」ヤングキャンペーン平成19年度実施地区。 ◎つくばエクスプレス守谷駅及び広場において薬物乱用防止に関する啓発活動 チラシ等啓発資材の配布と国連支援募金を行い、薬物乱用防止啓発を強化した。 ◎市内各中学校へ啓発資材のクリアファイルを配布。</p>	<p>保健センター</p>	<p>3</p>	<p>i</p>

<p>139 思春期教育の充実 《概要》 小・中学校を対象とした保健師による出前講座を実施し、思春期や性に関する学習機会を提供する。</p>	<p>拡充</p>	<p>小・中学校を対象とした、保健師による出前講座や教材の貸し出しを行い、思春期や性に関する学習の機会を提供する。 ◎養護教諭部会時活動PR ・松ヶ丘小学校 3・4年生に対し命の誕生と思春期の講話（児童200名） ・御所ヶ丘中学校 3年生に対し性感染症の講和（生徒178名） ・市内2ヶ所中学校家庭教育学級 思春期時期の健康（母22名）</p>	<p>保健センター</p>	<p>2</p>	<p>a, b, c</p>
<p>140 みんなでつくる明るい学校づくり 《概要》 中学生の規範意識を高め、社会性を育てるため、「みんなでつくる明るい学校づくり報告会」への生徒、PTA、教員の参加を促進する。</p>	<p>継続</p>	<p>7月26日に「生き生き学校づくり研修会」を実施（参加者20名）し、スクールカウンセラーを講師に招いて、構成的グループエンカウンターやロールプレイ、ピアサポート等を体験した。また、各中学校の生徒達が推進計画を作成し、あいさつ運動や地域クリーン作戦などを実施した。</p>	<p>指導室</p>	<p>2</p>	<p>b, e</p>

<p>141 市民スポーツフェスティバル</p> <p>《概要》</p> <p>誰もが気軽に参加できるスポーツの祭典として実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>各種スポーツ大会をはじめ、誰もが気軽に参加できる楽しいイベントや、生涯スポーツとして人気のある種目を紹介することにより、多くの市民がスポーツによる健康づくりと親睦を深めることを目的として開催している。</p> <p>※今年の前日に台風が通過したため、陸上競技場及びゲートボール場のコンディションが不良のため、数種目が中止となった。</p> <p>※体育館では「ようこそ守谷へ2008」が同時開催された。</p> <p>○実施内容</p> <table border="1" data-bbox="730 730 1491 1377"> <thead> <tr> <th>会 場</th> <th>種 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">陸上競技場</td> <td>市内小学校4×100mリレー予選・決勝 (グランドコンディション不良のため中止)</td> </tr> <tr> <td>市内中学校4×100mリレー決勝 (グランドコンディション不良のため中止)</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団交流大会(50mチャンス走)</td> </tr> <tr> <td>市民綱引き選手権</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">総合体育館</td> <td>開会セレモニー(中学校表彰伝達)</td> </tr> <tr> <td>目指せ!!北京オリンピック(体力測定)</td> </tr> <tr> <td>健康測定コーナー(骨年齢・血管測定)</td> </tr> <tr> <td>屋内温水プール</td> <td>プール市民無料解放</td> </tr> <tr> <td>野球場</td> <td>茨城ゴールデンゴールズ野球クリニック</td> </tr> </tbody> </table>	会 場	種 目	陸上競技場	市内小学校4×100mリレー予選・決勝 (グランドコンディション不良のため中止)	市内中学校4×100mリレー決勝 (グランドコンディション不良のため中止)	スポーツ少年団交流大会(50mチャンス走)	市民綱引き選手権	総合体育館	開会セレモニー(中学校表彰伝達)	目指せ!!北京オリンピック(体力測定)	健康測定コーナー(骨年齢・血管測定)	屋内温水プール	プール市民無料解放	野球場	茨城ゴールデンゴールズ野球クリニック	<p>生涯学習課</p>	<p>2</p>	<p>c</p>
会 場	種 目																			
陸上競技場	市内小学校4×100mリレー予選・決勝 (グランドコンディション不良のため中止)																			
	市内中学校4×100mリレー決勝 (グランドコンディション不良のため中止)																			
	スポーツ少年団交流大会(50mチャンス走)																			
	市民綱引き選手権																			
総合体育館	開会セレモニー(中学校表彰伝達)																			
	目指せ!!北京オリンピック(体力測定)																			
	健康測定コーナー(骨年齢・血管測定)																			
屋内温水プール	プール市民無料解放																			
野球場	茨城ゴールデンゴールズ野球クリニック																			

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="728 204 920 248">テニスコート</td> <td data-bbox="920 204 1494 248">秋季市民ソフトテニス大会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="728 248 920 443">自由広場</td> <td data-bbox="920 248 1494 443"> スポーツゲーム体験コーナー(キックターゲット, フライングディスク, 輪投げ, ペタンク, グラウンドゴルフ, ローンボウルズ) 模擬店, フリーマーケット </td> </tr> <tr> <td data-bbox="728 443 920 646">ゲートボール場</td> <td data-bbox="920 443 1494 646"> 市民歩け歩け大会 ゲートボール体験教室, 小中学生ハンドボール親善試合 (雨天のため中止) </td> </tr> </table>	テニスコート	秋季市民ソフトテニス大会	自由広場	スポーツゲーム体験コーナー(キックターゲット, フライングディスク, 輪投げ, ペタンク, グラウンドゴルフ, ローンボウルズ) 模擬店, フリーマーケット	ゲートボール場	市民歩け歩け大会 ゲートボール体験教室, 小中学生ハンドボール親善試合 (雨天のため中止)			
テニスコート	秋季市民ソフトテニス大会										
自由広場	スポーツゲーム体験コーナー(キックターゲット, フライングディスク, 輪投げ, ペタンク, グラウンドゴルフ, ローンボウルズ) 模擬店, フリーマーケット										
ゲートボール場	市民歩け歩け大会 ゲートボール体験教室, 小中学生ハンドボール親善試合 (雨天のため中止)										
<p>142 守谷ハーフマラソン 《概要》 幅広い年齢層の交流と健康増進を図る。</p>	<p>継続</p>	<p>今回も全国各地からランニング愛好者が集結した。特にハーフマラソンの部に人気が集中し、参加者は2,969人と全体の62.6%を占める。また、4種目24部門と幅広い年齢層に対応することにより、親子での参加なども促している。</p> <p>大会の運営については、男女がともに不公平なく参加できるよう、更衣室の確保や仮設トイレの設置などレイアウトなども含め配慮している。</p> <p>○参加者数 4,745人(うち女性 875人) (内訳) ハーフマラソン 2,969人 (うち女性 339人) 5km 735人(うち女性 177人) 3km 395人(うち女性 114人) 2km 646人(うち女性 245人)</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>2</p>	<p>a, c, g</p>						

<p>143スポーツ・レクリエーションへの参加促進 《概要》 各種教室・大会を開催することにより、市民相互の交流・親睦を図る。</p>	<p>継続</p>	<p>幅広い年齢層を対象にしたスポーツ大会や教室を開催することにより、個人の技能向上を図りながら、参加者同士の交流を深めることができた。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>2</p>	<p>b, e</p>																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="719 343 808 395">区分</th> <th data-bbox="808 343 999 395">名称</th> <th data-bbox="999 343 1167 395">開催日</th> <th data-bbox="1167 343 1503 395">参加者数（チーム数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="719 395 808 1385" rowspan="7">大会</td> <td data-bbox="808 395 999 496">グラウンドゴルフ大会</td> <td data-bbox="999 395 1167 496">5/13</td> <td data-bbox="1167 395 1503 496">男性46名, 女性17名, 計63名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 496 999 639">バドミントン大会</td> <td data-bbox="999 496 1167 639">6/17</td> <td data-bbox="1167 496 1503 639">50組 男子26名, 女子74名, 計100名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 639 999 783">バレーボール大会</td> <td data-bbox="999 639 1167 783">6/24</td> <td data-bbox="1167 639 1503 783">19チーム, 男子57名, 女子228名, 計285名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 783 999 927">軟式野球大会</td> <td data-bbox="999 783 1167 927">9/9,16,23, 10/7,14</td> <td data-bbox="1167 783 1503 927">18チーム 男子360名 計360名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 927 999 1070">テニス大会</td> <td data-bbox="999 927 1167 1070">9/2</td> <td data-bbox="1167 927 1503 1070">56チーム, 男子78名, 女子34名, 計112名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 1070 999 1214">ソフトボール大会</td> <td data-bbox="999 1070 1167 1214">10/14</td> <td data-bbox="1167 1070 1503 1214">16チーム 男性320名, 女性0名 計320名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="808 1214 999 1385">ソフトテニス大会</td> <td data-bbox="999 1214 1167 1385">10/28</td> <td data-bbox="1167 1214 1503 1385">86チーム, 男子72名, 女子60名, 計132名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	名称	開催日	参加者数（チーム数）	大会	グラウンドゴルフ大会	5/13	男性46名, 女性17名, 計63名	バドミントン大会	6/17	50組 男子26名, 女子74名, 計100名	バレーボール大会	6/24	19チーム, 男子57名, 女子228名, 計285名	軟式野球大会	9/9,16,23, 10/7,14	18チーム 男子360名 計360名	テニス大会	9/2	56チーム, 男子78名, 女子34名, 計112名	ソフトボール大会	10/14	16チーム 男性320名, 女性0名 計320名	ソフトテニス大会	10/28	86チーム, 男子72名, 女子60名, 計132名			
区分	名称	開催日	参加者数（チーム数）																												
大会	グラウンドゴルフ大会	5/13	男性46名, 女性17名, 計63名																												
	バドミントン大会	6/17	50組 男子26名, 女子74名, 計100名																												
	バレーボール大会	6/24	19チーム, 男子57名, 女子228名, 計285名																												
	軟式野球大会	9/9,16,23, 10/7,14	18チーム 男子360名 計360名																												
	テニス大会	9/2	56チーム, 男子78名, 女子34名, 計112名																												
	ソフトボール大会	10/14	16チーム 男性320名, 女性0名 計320名																												
	ソフトテニス大会	10/28	86チーム, 男子72名, 女子60名, 計132名																												

大会	球大会	12/16	男子 65 名, 女子 42 名, 計 107 名
	バスケット ボール大会	1/13,20	7 チーム, 男子 105 名, 女子 0 名, 計 105 名
教室	初心者水 教室	7/23 ~ 26	男性 16 名, 女性 20 名, 計 36 名
	中学生 土 登	8/1,2	男性 47 名, 女性 20 名, 計 74 名
	トランポリ ン教室	8/11 ~ 13	男性 55 名, 女性 59 名, 計 114 名
	水中ウー キング教室	3/12 ~ 14	男性 0 名, 女性 21 名, 計 21 名

144 学校体育施設開放事業
《概要》
平日夜間, 土・日の体育館開放
(小・中学校), 土・日の校庭開
放(小学校)を実施し, 市民が
健康増進を図るための活動場所
を提供する。

継続

小中学校の体育館や 技場を市民開放することによ
り, 市民の自主的・自発的な活動を展開し, 健康増進
や交流を図ることができた。
また, 夏休み期間中に小学校のプールを開放すること
により, 小学生が などで ことによる水難事 の
制につながった。

▽体育館(前期: 4月1日~9月30日

後期: 10月1日~3月31日)

区分	団体数	登録者数
前期	124 団体	2236 人
後期	114 団体	2319 人

生涯学習課

3

g

	▽プール（期間：7月21日～7月30日 土、日曜を除く）	学校名	利用者数	開放日数
		大 小学校	676人	6日
		大野小学校	285人	6日
		高野小学校	483人	6日
		守谷小学校	276人	4日
		内小学校	425人	5. 5日
		御所ヶ丘小学校	558人	7日
		郷 小学校	793人	7日
		松前台小学校	668人	7日
		松ヶ丘小学校	1029人	7日

主要課題3 ●高齢者、障害者等に対する自立支援

施策の方向1 ●高齢者の自立支援（生活機能の向上）

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
145食の自立支援事業（配食サービス） 《概要》 調理が困難な高齢者等に対して栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、安の確認をする。	継続	調理が困難な高齢者等に対して、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安の確認を行った。 委託：社会福祉法人 会 医療法人 会	介護福祉課	2	b, c, f

<p>146 生きがい活動支援通所事業 《概要》 み慣れた地域のげんき館や各公民館の出前サロン等で、いきいきと楽しく活動や日常動作等の各種事業を実施し、心身機能の向上と介護予防を図る。</p>	<p>拡充</p>	<p>み慣れた地域のげんき館や各公民館等の出前サロンで、いきいきと楽しく活動や日常動作等の各種事業を実施し、心身機能の向上と介護予防を図った。 げんきサロン（1ヶ所） いきいきプラ ・げんき館 出前サロン（11ヶ所） みずき野・御所ヶ丘・大野・高野・守谷・根切・町・戸 ・ふくろう・松風・大木</p>	<p>介護福祉課</p>	<p>2</p>	<p>b, g</p>
<p>147 軽度生活援助事業 《概要》 軽な日常生活（除、等）の援助を行い、高齢者の自立と生活の確保を図る。</p>	<p>継続</p>	<p>軽な日常生活（除、等）の援助を行い、高齢者の自立と生活の確保を図った。 委託：守谷市シルバー人材センターからの 利用時間：月～金曜日のうち2時間以内を限度とする。</p>	<p>介護福祉課</p>	<p>2</p>	<p>b, c, f, g</p>
<p>148 人クラブへの助成 《概要》 人クラブ運営の支援を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>介護予防の観点から自立した高齢者に生きがいある生活を送っていただけるよう人クラブに助金を支給し、単人クラブの様々な活動（研修行・体力作り活動・地域との交流等）を行い、ボケ防止、高齢者の立の防止等に役立った。</p>	<p>介護福祉課</p>	<p>1</p>	<p>e, f</p>

<p>149生活機能相談事業 《概要》 身の回りの事や 出等に不自由がでてきたときに、保健師や作業療法士、理学療法士等の 門相談員が一人ひとりに対応する。</p>	<p>拡充</p>	<p>内 容：介護保険認定の有無にかかわらず、生活機能の下をきたしている方の相談を実施している。 実施者：保健師・作業療法士・理学療法士 相談日： ・金 前10時～ 後4時まで（要予約）</p>	<p>介護福祉課</p>	<p>1</p>	<p>b, c, f</p>
<p>150生活福祉資金制度 《概要》 所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に必要な</p>	<p>継続</p>	<p>経済的自立や生活意 を失いつつある方に対する所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に必要な資金の貸付と援助指導を行った。 19年度新規生活福祉資金（県社協）については、急小口資金貸付が1件あり、生計中心者に自立更生に努めた。なお、継続支援として、生活支援資金13件、離職者支援2件、長期支援1件の相談、援助指導も行った。 また、19年度新規小口資金（市社協）については、4件の貸付けがあり、15件の継続支援をしている。今後は、生活意 の助長や在宅福祉・社会参加の促進を図ることも進めて行きたいと考える。</p>	<p>社会福祉協議会</p>	<p>2</p>	<p>f, g, h</p>
<p>151レインボー体操の推進 《概要》 げんき館、げんきサロン、出前サロンにおいて、レインボー体操の推進を図る。</p>	<p>拡充</p>	<p>げんき館、その 依頼に応じてレインボー体操の推進を図ってきた。 男女がそれぞれ自立して生活していけるよう高齢者の方々を対象に体操を指導・支援してきた。参加者からは「 , になり、非常に体が軽くなった」などの が聞かれている。 今後もさらに体操を普及していきたい。</p>	<p>社会福祉協議会</p>	<p>2</p>	<p>e, f</p>

<p>152 公共施設などのバリアフリー化の推進</p> <p>《概要》</p> <p>すべての人が社会の様々な分野に参加でき、安心して適な生活を送ることができる「人にやさしいまち」づくりを推進する。</p> <p>*バリアフリー設計が浸透してきているためH19年度事業終了</p>	<p>継続</p>	<p>平成19年度は、18年度からの引き続き事業として、ふれあい、立地内において3交点（6所）の歩道解消工事を実施終了した。</p> <p>公共施設等におけるバリアフリー工事等については、現在、企画では把握していない。</p> <p>（それぞれの担当課において実施している所もある可能性あり）</p> <p>新たに設ける公共施設や工事当初において、すでにバリアフリーでの設計ということが大分浸透してきている。</p>	<p>企画課</p>	<p>1</p>	<p>i</p>
---	-----------	--	------------	----------	----------

施策の方向2 ● 障害のある人に対する支援

<p>具体的事業</p>	<p>区分</p>	<p>実施状況</p>	<p>担当課</p>	<p>達成度</p>	<p>効果</p>
<p>153 障害者に対する各種制度の周知</p> <p>《概要》</p> <p>的な広報活動により各種制度の情報を提供するほか、民生・児童委員、身体・知的障害者相談員等との連携をにするなど、各種制度の周知に努める。</p>	<p>継続</p>	<p>広報もりや、インターネット、ちらし、れ等を利用し広報活動を推進した。また、民生・児童委員の協力を得て障害者への指導に努める事ができた。身体障害者相談員及び知的障害者相談委員の研修会などに積極的に参加していただき、障害者のかたの相談役を務めていただいている。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>g, i</p>

<p>154精神障害者への援助 《概要》 精神障害者による 手続きに ついて支援を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>仕事や人間関係などのストレスが と思われる、統合失調症、うつ病等を発症し精神科や神経内科などに受診する方が増加している。このような対象者への援助策として精神通院医療費の負担を軽減するために障害者支援として国が医療費の 減対策を以前から実施している。なお、18年度からは、個人負担が障害者自立支援法の制定により、5%から10%になりました。これは、本来、医療費は30%の負担が になるが、 法では個人の負担を軽減することを目的に作られたが、障害がある方も10%の負担をすることが必要であるとの から制定されたと思われる。この施策を施行する に、本人、保護者から を受けて精神障害者への援助を進めている。認定は医者 の診 書により される。平成19年度の 者は、おおむね400名</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>b, i</p>
<p>155障害者デイサービス事業 の促進 《概要》 障害のある人に対して、入 サ ービス等の援助を行う。</p>	<p>継続</p>	<p>身体に障害がある方を対象に、施設でのレクリエーションや入 サービスなどを通して障害者の生活の向上や安らぎを得てもらう事ができた。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>i</p>

<p>156 障害児ショートステイサービス</p> <p>《概要》</p> <p>保護者の疾患等の理由により、家庭において障害がある児童を一時的に介護できないとき、入所施設で一時的に預かる。</p>	<p>継続</p>	<p>身体や知的に障害がある児童を育てている保護者が急病ややむを得ない事情により、一時的に身体障害者入所施設や知的障害者入所施設に預けなければならない場合の援助。平成19年度は15名援助</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>i</p>
<p>157 障害児福祉手当</p> <p>《概要》</p> <p>身体又は精神に重度の障害があるため、日常生活において常時介護を必要とする度の状態にある障害者及び障害児に対して支給する。</p>	<p>継続</p>	<p>重度の障害があり日常生活において常時介護を必要とする度にある身体障害者児や精神障害者児に対して、生活の向上や安らぎを得る事ができるように手当を支給している。19年度の支給対象者は、障害者が23名、障害児が12名でした。支給には要件に該当する必要があります。</p> <p>支給額は、特別障害者手当 26,440円/月、 障害児福祉手当 14,380円/月</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>i</p>
<p>158 在宅障害児福祉手当の支給</p> <p>《概要》</p> <p>市在宅障害児福祉手当支給例の支給要件に該当する、20歳未満の心身に障害のある自動を養育している保護者に支給。(障害児福祉手当の受給者は対象にならない。)</p>	<p>継続</p>	<p>在宅で障害がある児童を養育している保護者に対して生活の安定と安らぎの援助実施した。</p> <p>平成19年度の対象者は、73名</p> <p>支給額は、5,000円/月</p> <p>支給には要件に該当することが必要です。また、障害児福祉手当を受給している方は対象になりません。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>1</p>	<p>i</p>

159更生医療の給付 《概要》 身体障害児（者）が障害を取り除いたり軽減して日常生活を容 にすするため、更生医療（18 歳以上）を給付する。	継続	身体障害者手帳の交付を受けた満18歳以上の者で、 障害を取り除く事により、日常生活の安定や社会復帰 への意 向上できる。 平成19年度の給付者は、3名	社会福祉課	1	b, i
160特別児童 養手当の支給 《概要》 心身に障害のある20歳未満の 児童を家庭で養育している保護 者に対して支給する。	継続	20歳未満の身体障害児や知的障害児などを養育し ている保護者に生活の援助や安定した安らぎのため 手当を支給した。平成19年度の支給者は、75名で す。支給には要件に該当することが必要。 支給額は、1級 50,900円 2級 33,900円 100%国費	社会福祉課	1	i
114（再）医療福祉費支給制 度	継続		国保年金課	1	f, h
150（再）生活福祉資金制度	継続		社会福祉協議会	2	f, g, h
161身体障害者スポーツ大会 《概要》 身体に障害のある人がスポーツ を通して社会参加を促すことを 目的に開催する。	継続	例年、県 総合事務所管内の自治体から参加者を募り 実施されているが、守谷市においては参加 者が減 少 向のため、身体障害者福祉会と協議した結果、1 8年度以降は参加を見合わせている、	社会福祉課	3	

<p>162手話通訳による社会参加の促進</p> <p>《概要》 手話の未経験者に初年度20回の基 講習, 2年目20回の初級講習を行い, 県組織での活動を目指す。</p>	<p>継続</p>	<p>手話講習をとおして, の不自由な方への理解と援助ができる体制を くことができた。</p> <p>平成19年度は24名が基 講習を受講し, 修了者は18名。修了者のうち, 16名が平成20年度の初級講習へと進む予定。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>2</p>	<p>e</p>
<p>163障害児の支援・教育の充実</p> <p>《概要》 障害のある幼児に対する療育の充実を図る。</p>	<p>継続</p>	<p>発達に何らかの問題をもつ児童に対する支援の充実を図った。</p> <p>対象児が通っている市内及び近隣市町村の保育所, 幼稚園, 小学校及び養護学校との連携を図った。また, 保護者のニーズに応じて, 教育委員会指導室, 小学校及び養護学校就学児保護者との 談会・相談等を実施した。 参加人数 78名</p>	<p>障害者福祉センター</p>	<p>2</p>	<p>g</p>
<p>164子ども療育教室</p> <p>《概要》 心身に障害のある, もしくは発達に何らかの問題を持つ利用者の成長を支援するために, 親子で通園し, 日常生活における基本動作の指導, 集団生活への適応などの療育 を実施する。</p>	<p>継続</p>	<p>◎集団指導 児童の年齢, 実態を考慮して, 小集団での指導を行った。(4グループ 成)</p> <p>◎個別指導 指導者と1対1での 指導, 認知等の指導を行った。(1回1時間, 1人月3回まで)</p> <p>◎水療育 門講師によるスキンシップ水療育 (常総運動公園室内温水プールにて年8回実施)</p>	<p>障害者福祉センター</p>	<p>2</p>	<p>g</p>

		<p>◎各種相談 発達に関すること、就園、就学に関すること等、保護者からの相談を受けた。(随時)保護者のニーズに応じて医療、保健、福祉、教育等、各関係機関福祉との連携を図った。</p> <p>◎行事 談会(年5回)、個人面談、園をう会開催 参加人数 78名</p>			
<p>165特 教育就学 費 助 《概要》 特 教育を受ける児童・生徒を養育する世帯への経済的負担の軽減を図る。</p>	継続	<p>特 教育学級に在籍する児童生徒を有する世帯への学費及び給食費の一部を 助する事により経済的負担の軽減を図る。</p> <p>平成19年度 81名78世帯 総額 1360,880円 実施</p>	学校教育課	2	g
<p>152(再)公共施設などのバ リアフリー化の推 進</p>	継続		企画課	1	i
<p>166重度障害者(児) 宅リ フォーム助成事業 《概要》 障害のある人が台所や 関スロ ープ等の改修工事を行い、適 な生活を送るための援助をす る。</p>	継続	<p>身体や知的に重度障害がある障害者児が生活の向上と 適な生活を営むために 解消(や から 関までのスロープの設置・ 関の 解消・ 下と 部屋の 解消, 風 の 解消など), 台所の改修を行なうことへの援助を実施。支給には要件に該当することが必要。</p> <p>平成19年度は2名に支給。</p>	社会福祉課	2	i

施策の方向3 ●要介護にならないための介護予防

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
146 (再) 生きがい活動支援 通所事業	拡充		介護福祉課	2	b, g
149 (再) 生活機能相談事業	拡充		介護福祉課	1	b
167 たきり防止事業の推進 《概要》 高齢者ができる限り要介護状態 になることなく、健康でいきい きとした 後生活を送れるよう 支援する。	継続	げんき館において、 たきりにならないよう、体操等 の指導・支援を図った。 高齢化社会が広まる中、 今後は、ひとりひとりのニー ズに応じた たきり防止事業を推進していくことが 重要である。 また、平成19年度は、茨城県福祉協議会と共催で 「シルバーリハビリ体操講習会」を開催し、関係者を 含め、100名近くの参加者が受講した。	社会福祉協議会	2	f, g

施策の方向4 ●ひとり親家庭等に対する支援体制の充実

具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
168 ひとり親家庭等に対する 情報提供 《概要》 守谷市母子 婦福社会において ひとり親家庭等に対する情報提 供を行う。	継続	ひとり親世帯が、日常生活において親に急用ができた ときなど、 急に困った時、母子 婦福社会に登録し ておくことにより介護人として会員登録された介護 人の を受けることができる。 守谷市においては、登録者は少なく、利用者も本年度 はなかった。 としては、自宅への介護人 を好 まない状況が われる点及び介護人宅でみてもらえ る守谷市のファミリーサポートセンターの事業利用 が増えているためと思われる。	児童福祉課	4	h

169 母子 婦福祉資金の貸付け 《概要》 「母子及び 婦福祉法」に基づく事業資金、就学資金などの貸付けを行う。	継続	母子 婦の自立を目指し、母子及び 婦福祉法 に基づく福祉資金の貸付け事業を実施し、相談から貸付に ったのは1件であった。 ・福祉資金貸付事業相談件数 10件（前年10件） ・自立支援相談件数（教育 給付金等）10件 今後も、母子家庭等の自立促進のための福祉資金貸し 付け等について、PRしていく必要がある。	児童福祉課	2	h
170 児童 養手当の支給 《概要》 父親と生計を同じくしていない 18歳未満の子どもを療育して いる母親又は療育者に、手当て を支給する。	継続	父母の離婚等により、父親と生計をともにしていない 母または母にかわってその児童を養育している 方に対し、生活の安定と自立促進の、児童の健やかな 成長のために手当を支給した。 ・4月 8月 12月 児童 養手当手当支給 ・支給 件数 405件（前年度389件） ・支給対象件数 367件（前年度325件）	児童福祉課	1	a, h
171 母子・父子福祉手当の支 給 《概要》 まいで18歳未満の子のい るひとり親家庭（母子・父子家 庭）に対し、月5千円を支給す る。	継続	家 まいで18歳未満の子どもがいるひとり親世 帯で、児童 養手当の所得要件に該当する世帯に経済 的支援を目的に月5千円を支給した。 ・4月 8月 12月 母子・父子 宅手当支給 ・支給対象世帯 185世帯（前年度170世帯）	児童福祉課	1	h
114（再）医療福祉費支給制 度	継続		国保年金課	1	f, h
150（再）生活福祉資金制度	継続		社会福祉協議会	2	f, g, h